

3 結婚観

(1) 結婚することの利点の有無

問5 今のあなたにとって、結婚することには何か利点があると思いますか。左下①のあてはまる番号に○をつけてください。また、①の1. に○をつけた方は、右側②の具体的な利点の中から最大の利点と第二の利点をそれぞれ1つ選んで右の回答欄に番号を記入してください。

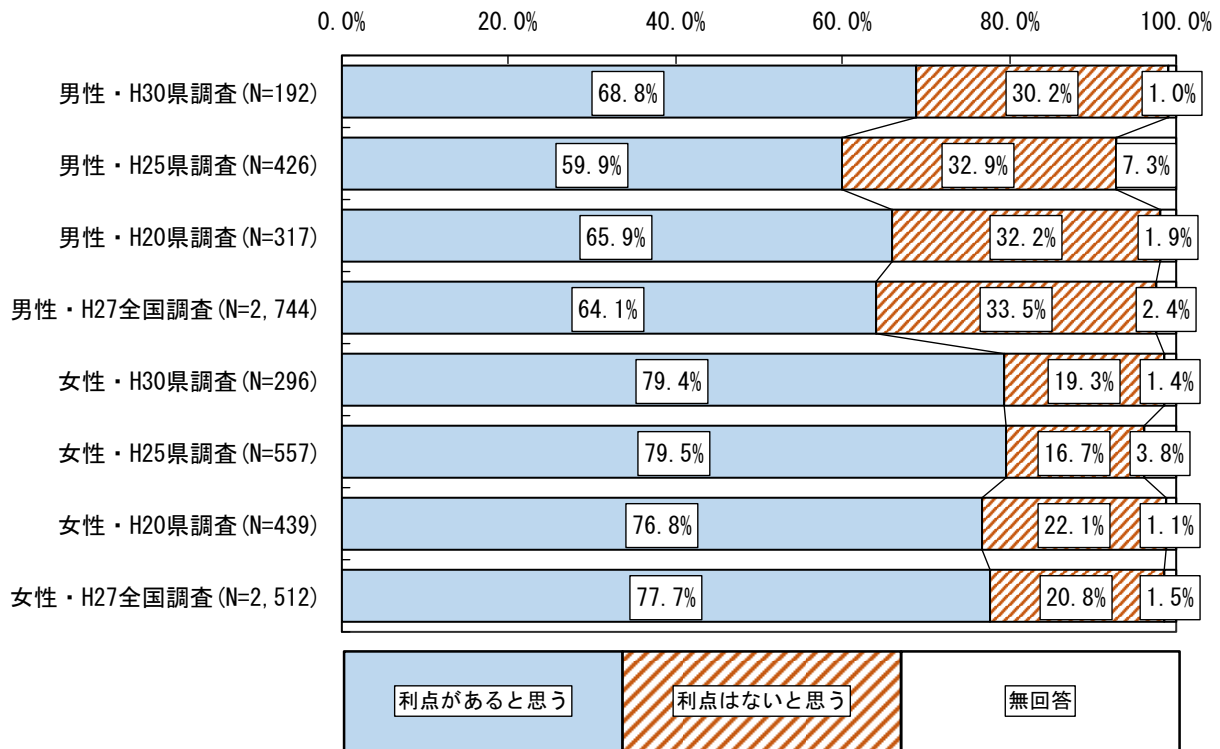
①結婚することの利点の有無

結婚経験のない20～39歳の、結婚することの利点の有無をみると、男性では「利点があると思う」が68.8%となっている。前回調査に比べて、「利点があると思う」の割合が8.9ポイント上昇している。

女性では「利点があると思う」が79.4%となっている。前回調査に比べて、回答の割合に大きな変化はない。

全国調査と比較すると「利点があると思う」の割合は、男性では4.7ポイント、女性では1.7ポイント上回っている。また、「利点があると思う」男性の割合は、女性に比べて10.6ポイント低い。

図表 結婚することの利点の有無



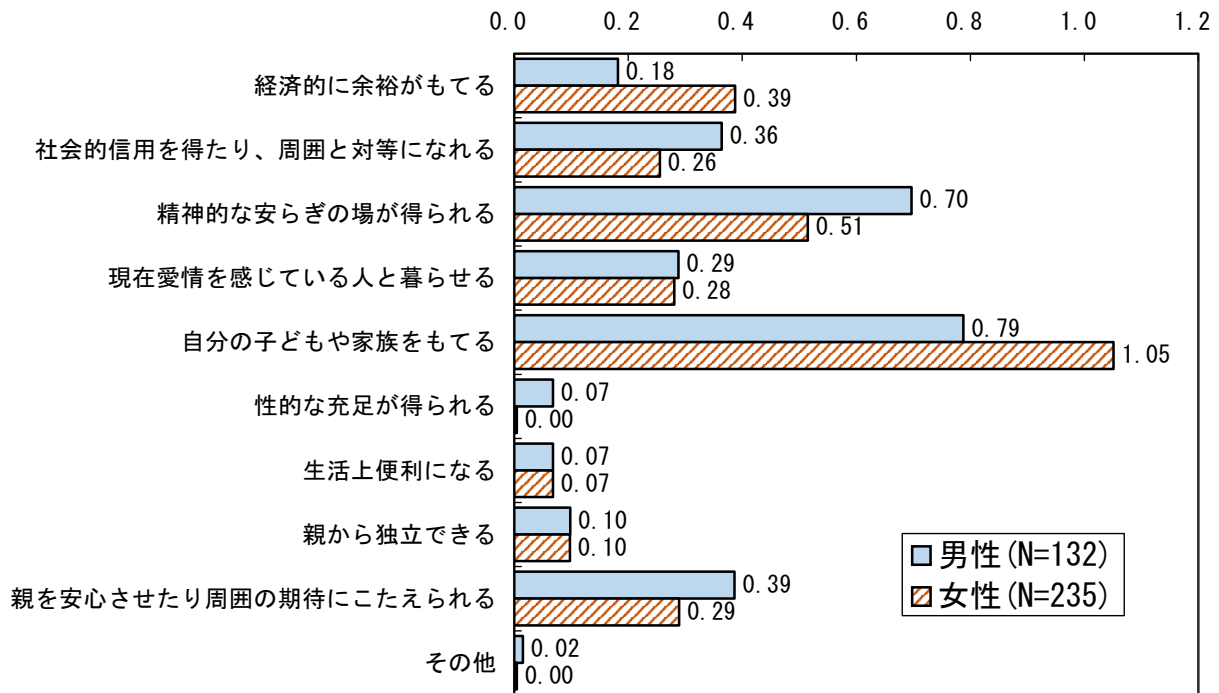
※結婚経験のない20～39歳

②結婚することの具体的な利点

結婚経験のない 20～39 歳の、結婚することの具体的な利点をみると、男性では「自分の子どもや家族をもてる」が 0.79 点で最も多く、次いで「精神的な安らぎの場が得られる」(0.70 点)、「親を安心させたり周囲の期待にこたえられる」(0.39 点)となっている。

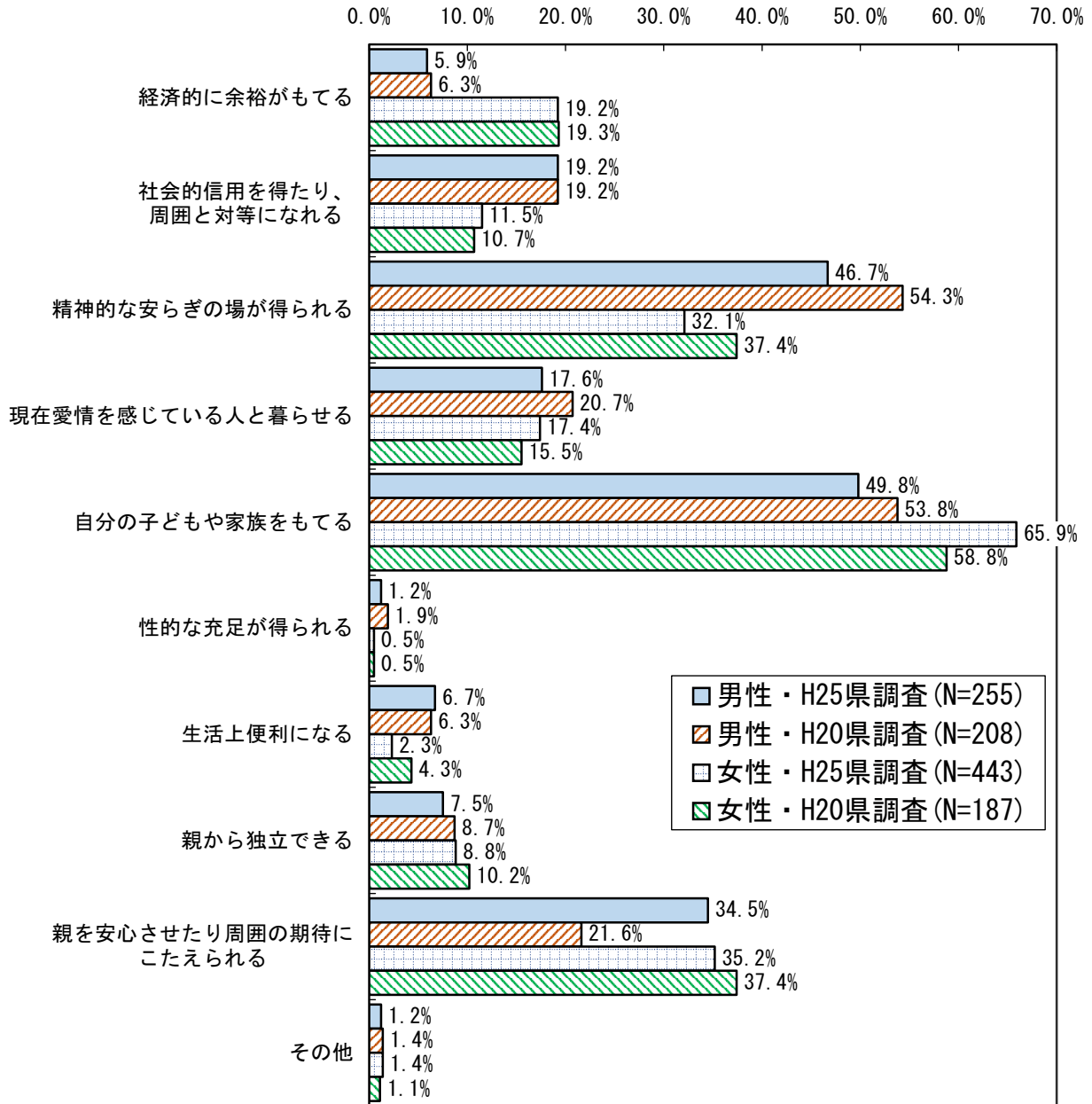
女性では「自分の子どもや家族をもてる」が 1.05 点で最も多く、次いで「精神的な安らぎの場が得られる」(0.51 点)、「経済的に余裕がもてる」(0.39 点)となっている。

図表 結婚することの具体的な利点（2つ選択）



※結婚経験のない 20～39 歳について、最大の理由 = 2 点、第二の理由 = 1 点として合計し、対象の母数で割った値を得点とした。

(参考) 図表 結婚することの具体的な利点 (過去調査)



※結婚経験のない20~39歳

(2) 独身生活の利点の有無

問6 それでは逆に今のあなたにとって、独身生活には結婚生活にはない利点があると思いますか。左下①のあてはまる番号に○をつけてください。また、①の1. に○をつけた方は、右側②の具体的な利点の中から最大の利点と第二の利点をそれぞれ1つ選んで右の回答欄に番号を記入してください。

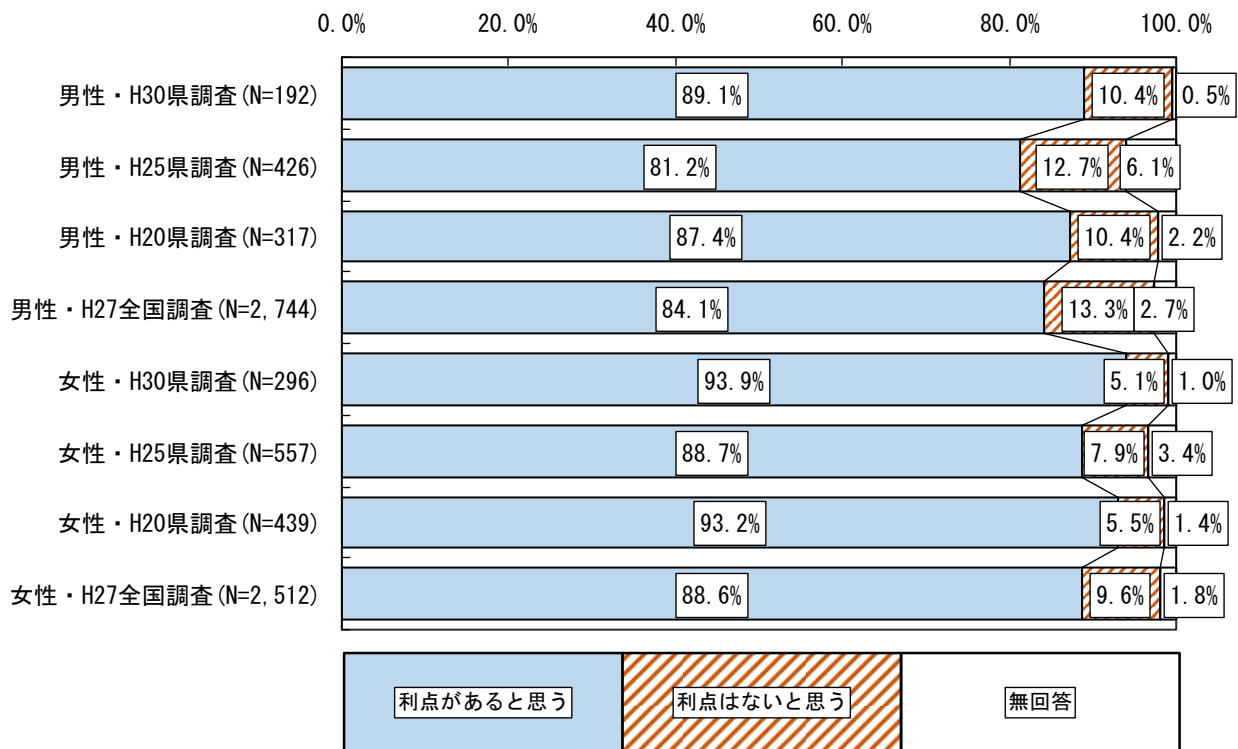
①独身生活の利点の有無

結婚経験のない20～39歳の、独身生活の利点の有無をみると、男性では「利点があると思う」が89.1%となっている。前回調査に比べて、「利点があると思う」の割合が7.9ポイント上昇している。

女性では「利点があると思う」が93.9%となっている。前回調査に比べて、「利点があると思う」の割合が5.2ポイント上昇している。

全国調査と比較すると「利点があると思う」の割合は、男性では5.0ポイント、女性では5.3ポイント上回っている。また、「利点があると思う」男性の割合は、女性に比べて4.8ポイント低い。

図表 独身生活の利点



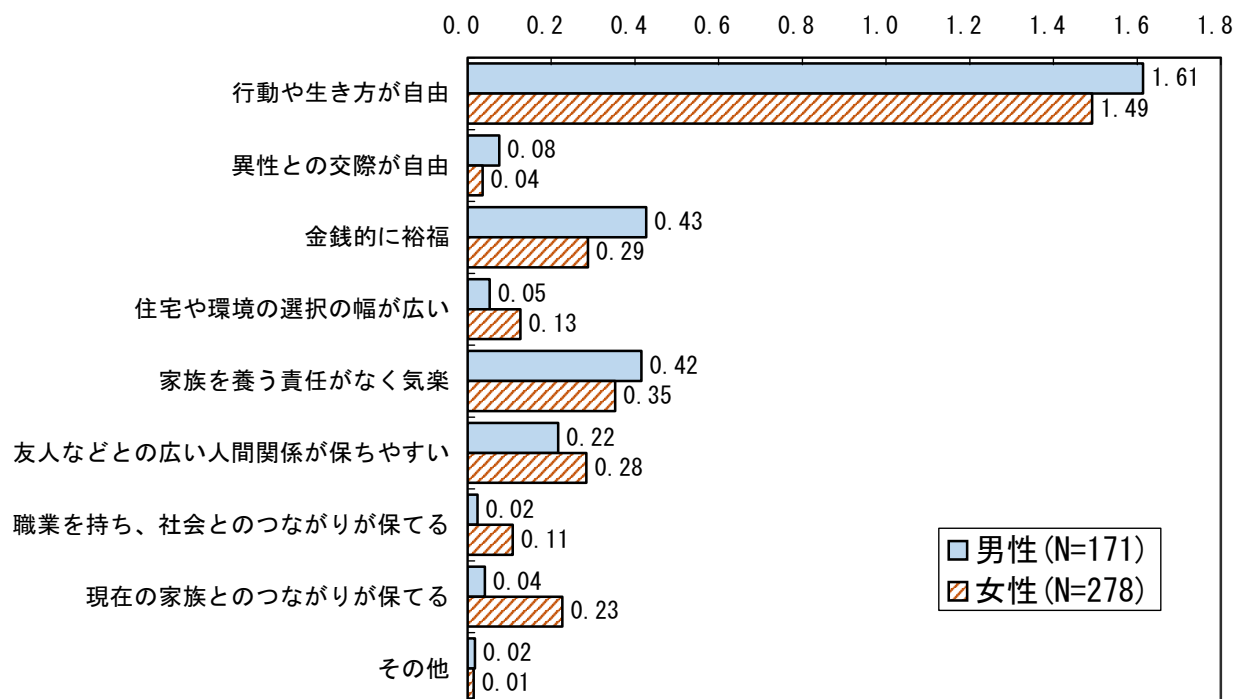
※結婚経験のない20～39歳

②独身生活の具体的な利点

結婚経験のない 20～39 歳の、独身生活の具体的な利点をみると、男性では「行動や生き方が自由」が 1.61 点で最も多く、次いで「金銭的に裕福」(0.43 点)、「家族を養う責任がなく気楽」(0.42 点)となっている。

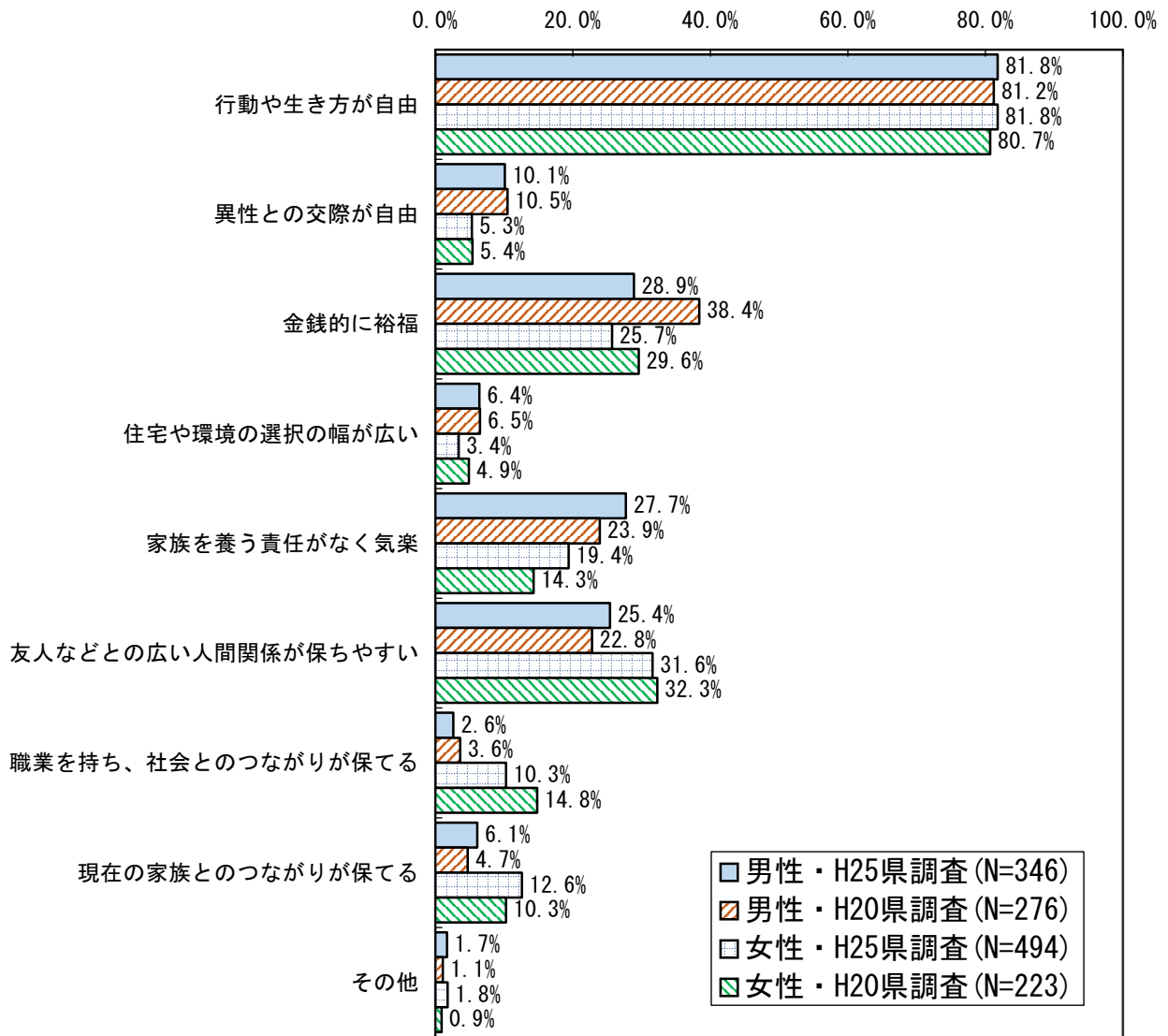
女性では「行動や生き方が自由」が 1.49 点で最も多く、次いで「家族を養う責任がなく気楽」(0.35 点)、「金銭的に裕福」(0.29 点)となっている。

図表 独身生活の具体的な利点 (2つ選択)



※最大の理由=2点、第二の理由=1点として合計し、対象の母数で割った値を得点とした。

(参考) 図表 独身生活の具体的な利点 (過去調査)



※結婚経験のない20～39歳

(3) 希望するライフコース

問7 下記に女性・男性の生き方のタイプがいくつか示してあります。それぞれ最も近いと思われるタイプの番号を選択肢から選び、回答欄に記入してください。

独身者は「結婚・出産・子育て」と「就業」との関係をどのように考えているのか、理想とするライフコースと実際になりそうなライフコースについてそれぞれたずねた。

(3) - 1 女性のライフコース

①あなたの理想とする人生はどのタイプですか。
 ②理想は理想として、実際になりそうなあなたの人生はどのタイプですか。
 (男性の方へ) ③パートナー(あるいは妻)となる女性にはどのようなタイプの人生を送ってほしいと思いますか。

女性	非婚就業コース	結婚せず、仕事を続ける
	DINKSコース	結婚するが子どもは持たず、仕事を続ける
	両立コース	結婚し、子どもを持つが、仕事も続ける
	再就職コース	結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ
	専業主婦コース	結婚し子どもを持ち、結婚あるいは出産の機会に退職し、その後は仕事を持たない

【女性の理想のライフコース】

18～19歳では「両立コース」の割合が最も多く、次いで「専業主婦コース」となっている。

20～24歳、25～29歳では「両立コース」の割合が最も多く、次いで「再就職コース」となっている。

30～34歳では「再就職コース」の割合が最も多く、次いで「両立コース」「専業主婦コース」となっている。

35～39歳、45～49歳では「両立コース」の割合が最も多く、40～44歳では「再就職コース」の割合が最も多い。

【女性の予定のライフコース】

18～19歳では「再就職コース」の割合が最も多く、次いで「非婚就業コース」となっている。

20～24歳、25～29歳では「再就職コース」の割合が最も多く、次いで「両立コース」となっている。

30～34歳では「非婚就業コース」の割合が最も多く、次いで「再就職コース」となっている。

35～39歳では「非婚就業コース」の割合が最も多く、次いで「両立コース」「再就職コース」が同率となっている。

40～44歳では「非婚就業コース」の割合が最も多く、次いで「DINKSコース」「再就職コース」が同率となっている。

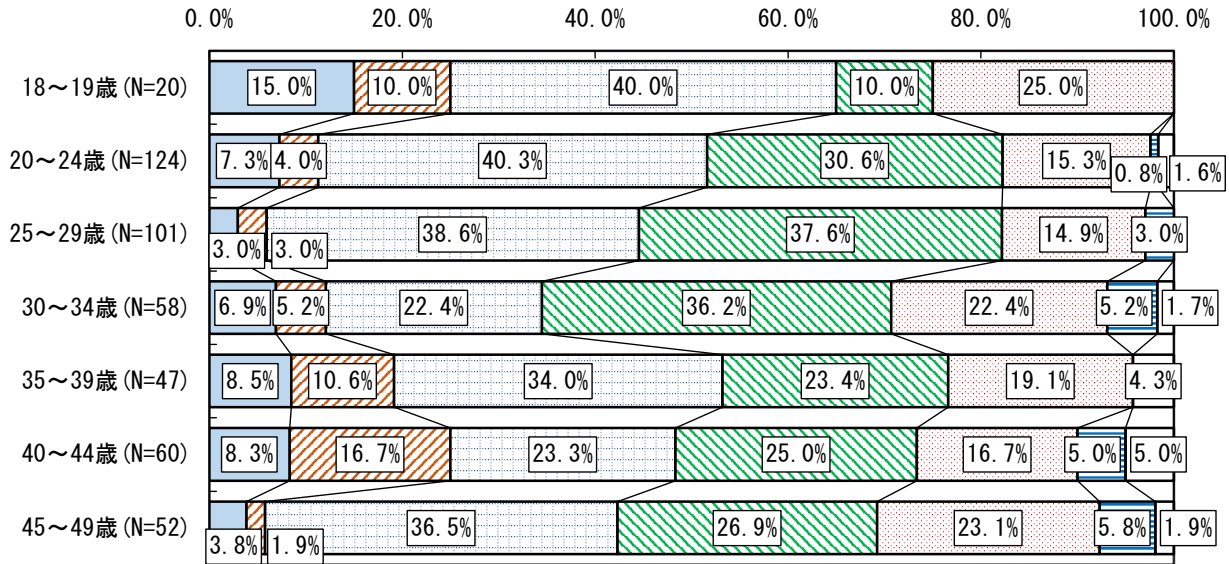
45～49歳では「非婚就業コース」の割合が最も多く、次いで「再就職コース」となっている。

また、「非婚就業コース」及び「DINKSコース」の割合は、25～29歳(合計25.8%)で最も少なく、40～44歳(合計71.7%)で最も多くなっている。

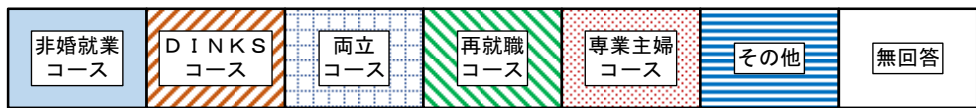
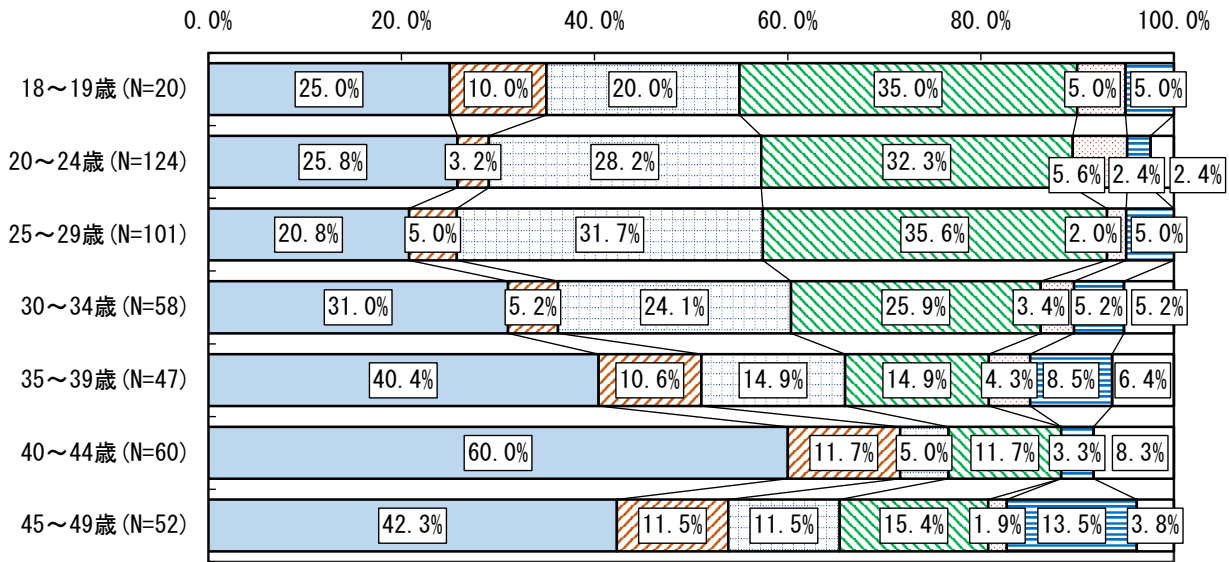
【男性が期待する女性のライフコース】

18～19歳では「両立コース」の割合が最も多く、次いで「再就職コース」となっている。
 20～24歳では「再就職コース」の割合が最も多く、次いで「両立コース」となっている。
 25～29歳、30～34歳、35～39歳、40～44歳では「両立コース」の割合が最も多く、次いで「再就職コース」となっている。
 45～49歳では「再就職コース」の割合が最も多く、次いで「両立コース」となっている。

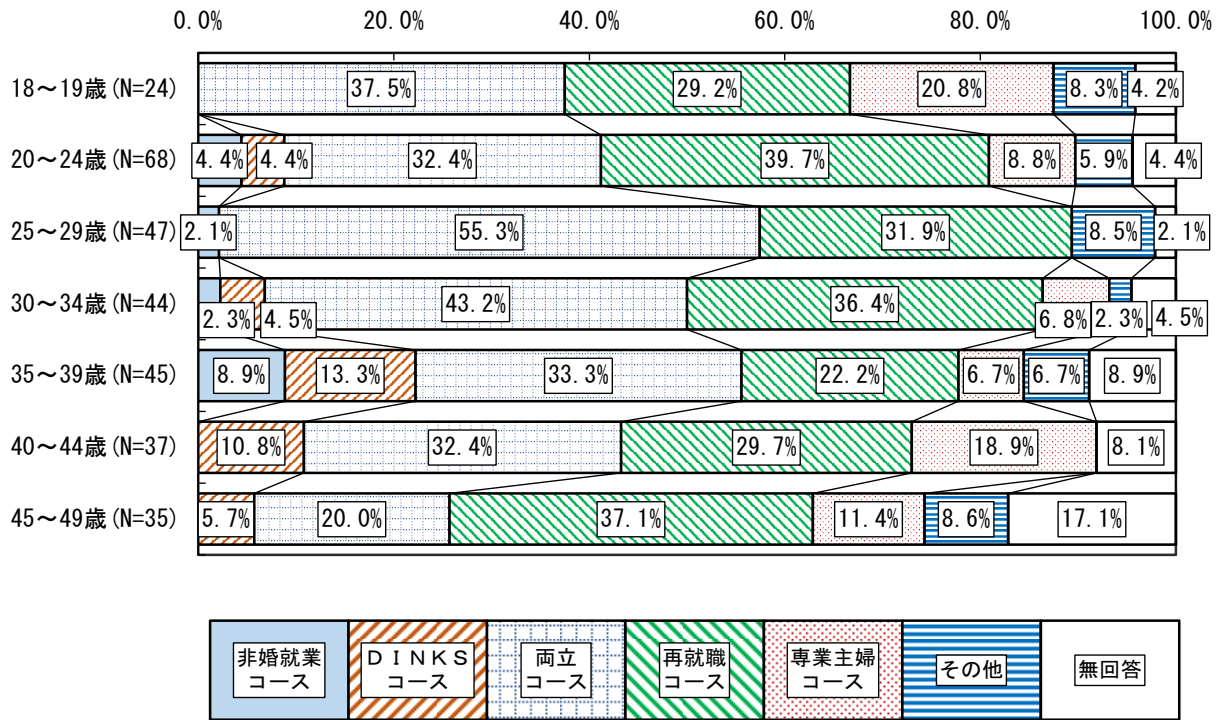
図表 年齢別 女性が理想とするライフコース



図表 年齢別 女性が実際に予定するライフコース



図表 年齢別 男性が女性に期待するライフコース



(3) - 2 男性のライフコース

- ①あなたの理想とする人生はどのタイプですか。
- ②理想は理想として、実際になりそうなあなたの人生はどのタイプですか。
- (女性の方へ) ③パートナー(あるいは夫)となる男性にはどのようなタイプの人生を送ってほしいと思いますか。

男性	非婚就業コース	結婚せず、仕事を続ける
	DINKSコース	結婚するが子どもは持たず、仕事を続ける
	仕事中心コース	結婚し、子どもを持つが、子育てはパートナー(妻)にまかせて、仕事を中心とした生活を送る
	両立コース(できるだけ子育て参加)	結婚し、子どもを持ち仕事を続けるが、できるだけ子育てにも参加する
	両立コース(積極的に子育て参加)	結婚し、子どもを持ち仕事を続けるが、積極的に子育てにも参加する
	専業主夫コース	結婚し、子どもを持つが、仕事はパートナー(妻)にまかせて、仕事を辞め、家庭を中心とした生活を送る

【男性の理想のライフコース】

18～19歳、20～24歳では「両立コース(積極的に子育て参加)」の割合が最も多く、次いで「両立コース(できるだけ子育て参加)」となっている。

25～29歳、30～34歳では「両立コース(できるだけ子育て参加)」の割合が最も多く、次いで「両立コース(積極的に子育て参加)」となっている。

35～39歳では「両立コース(積極的に子育て参加)」の割合が最も多く、次いで「両立コース(できるだけ子育て参加)」となっている。

40～44歳、45～49歳では「両立コース(できるだけ子育て参加)」の割合が最も多く、次いで「両立コース(積極的に子育て参加)」となっている。

【男性の予定のライフコース】

18～19歳、20～24歳、25～29歳、30～34歳、35～39歳では「両立コース(できるだけ子育て参加)」の割合が最も多く、次いで「非婚就業コース」となっている。

40～44歳、45～49歳では「非婚就業コース」の割合が最も多く、次いで「両立コース(できるだけ子育て参加)」となっている。

【女性が期待する男性のライフコース】

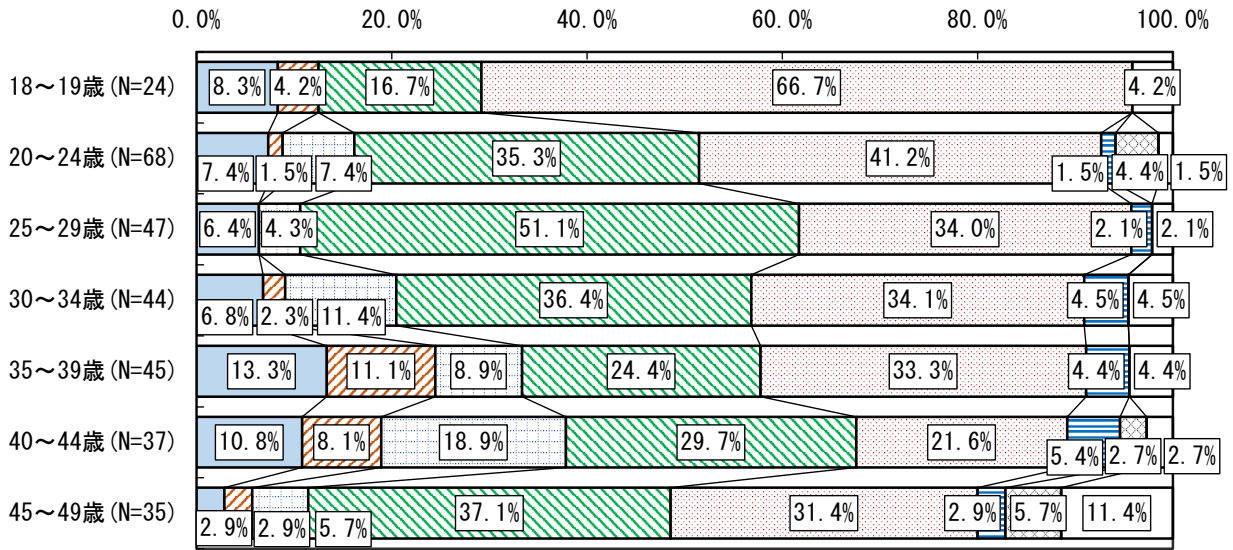
18～19歳、20～24歳、25～29歳、30～34歳では「両立コース(積極的に子育て参加)」の割合が最も多く、次いで「両立コース(できるだけ子育て参加)」となっている。

35～39歳では「両立コース(積極的に子育て参加)」「両立コース(できるだけ子育て参加)」の割合が最も多く同率となっている。

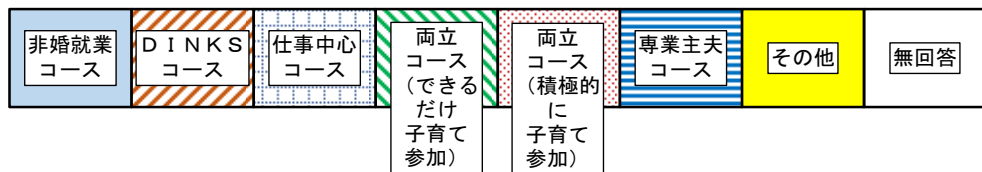
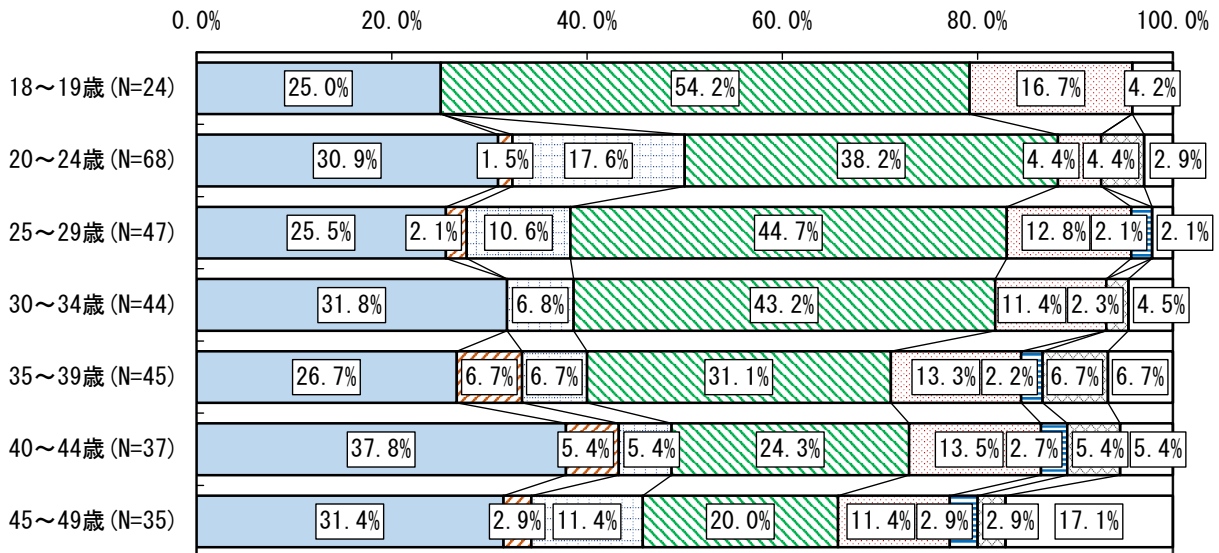
40～44歳では「両立コース(積極的に子育て参加)」の割合が最も多く、次いで「両立コース(できるだけ子育て参加)」となっている。

45～49歳では「両立コース(できるだけ子育て参加)」の割合が最も多く、次いで「両立コース(積極的に子育て参加)」となっている。

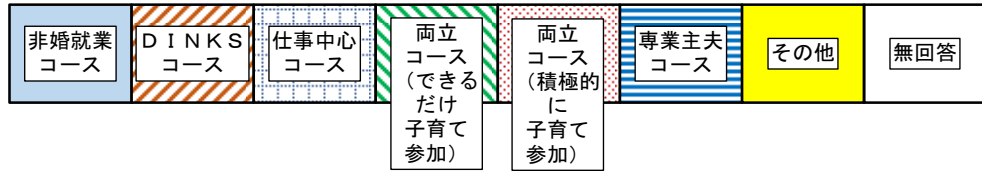
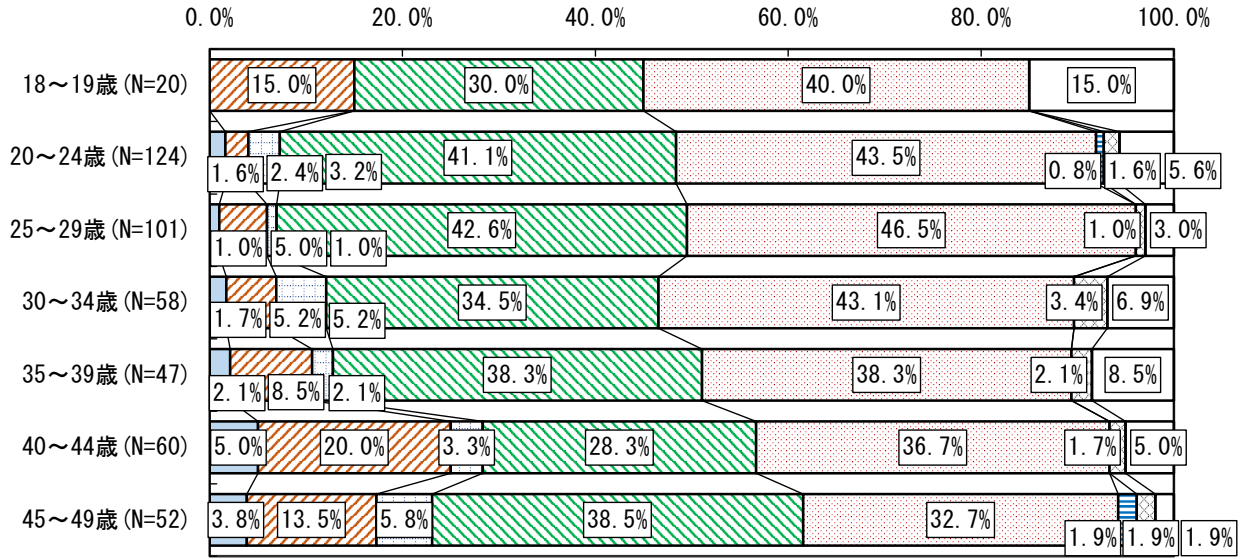
図表 年齢別 男性が理想とするライフコース



図表 年齢別 男性が実際に予定するライフコース



図表 年齢別 女性が男性に期待するライフコース



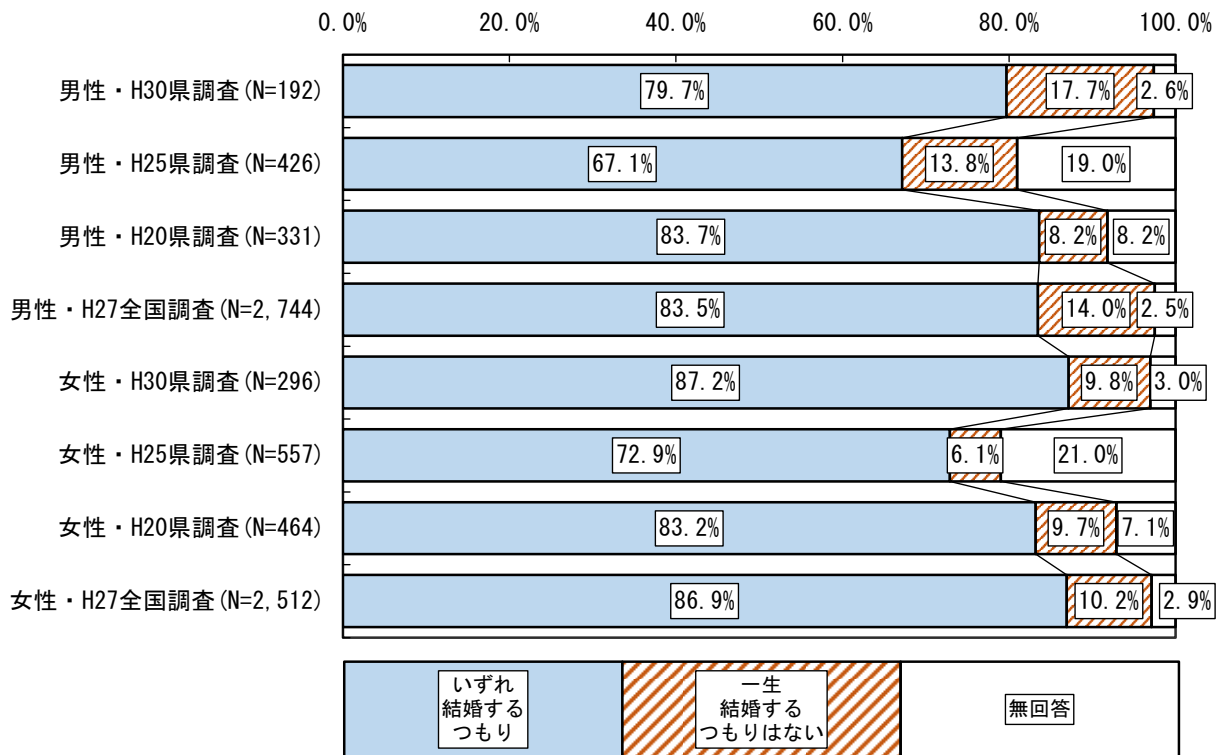
(4) 結婚意欲

問8 自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちのどちらですか。(〇は1つ)

結婚経験のない20～39歳の、結婚意欲をみると、男性では「いずれ結婚するつもり」が79.7%となり、前回調査に比べて、12.6ポイント上昇している。女性では「いずれ結婚するつもり」が87.2%となっており、前回調査に比べて、14.3ポイント上昇している。

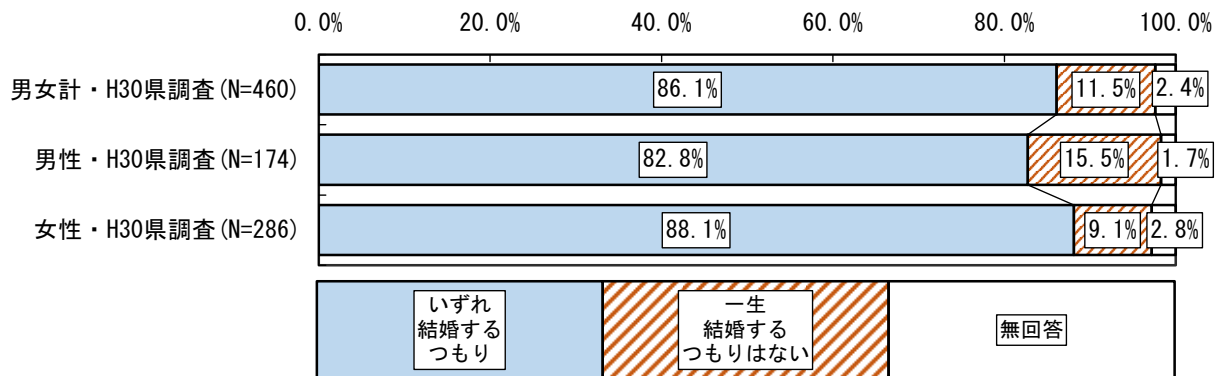
男女ともに、「いずれ結婚するつもり」の割合は全国と比べほぼ同程度であり、若年層をみても結婚意欲は高い。

図表 結婚意欲



※結婚経験のない20～39歳

図表 若年層の結婚意欲



※35歳未満の結婚経験のない未婚者（性別不明を除く）

(5) 結婚時期についての考え

問9～13は、問8で1に○をつけた方（いずれ結婚するつもりの方）にうかがいます。2に○をつけた方は問14に進んでください。

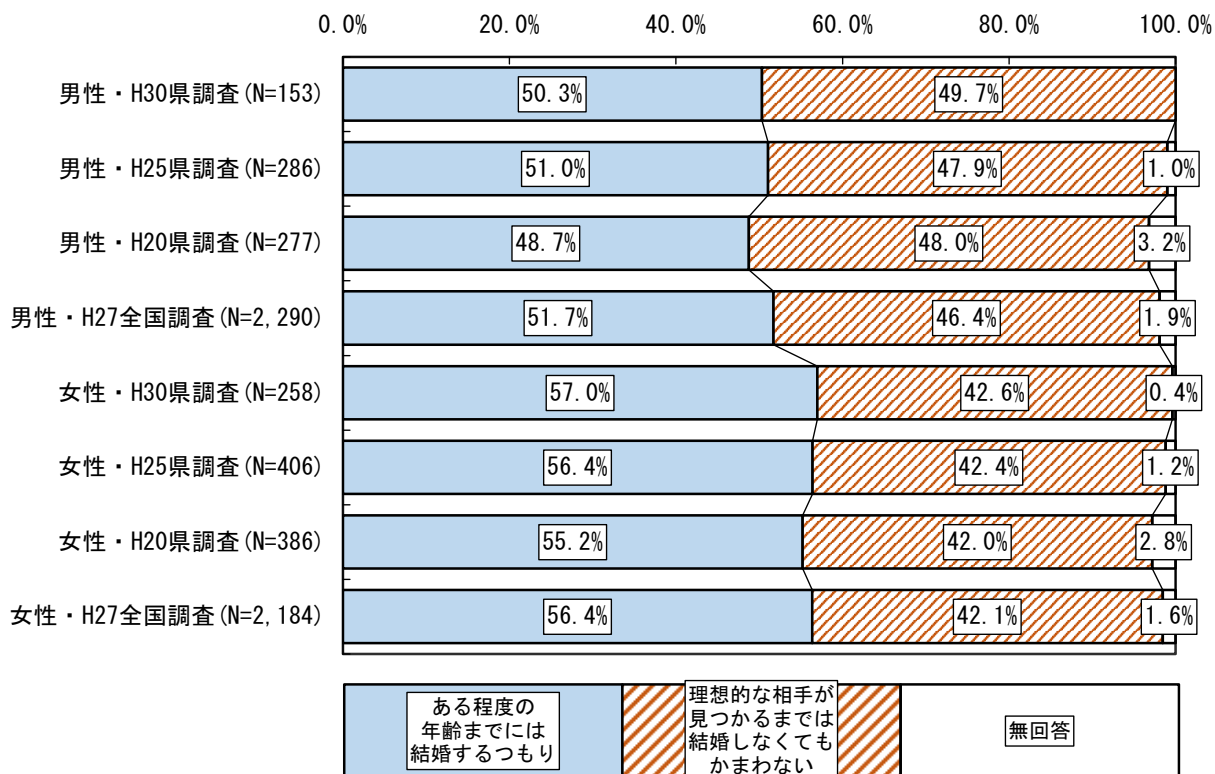
問9 同じく自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちのどちらですか。（○は1つ）

結婚経験のない20～39歳の、結婚時期についての考えをみると、男性では「ある程度の年齢までには結婚するつもり」が50.3%となっており、前回調査に比べて、回答の割合に大きな変化はない。

女性では「ある程度の年齢までには結婚するつもり」が57.0%となっており、前回調査に比べて大きな差はない。

男女ともに、すべての回答結果について、全国調査の結果とほぼ同程度になっている。

図表 結婚時期についての考え



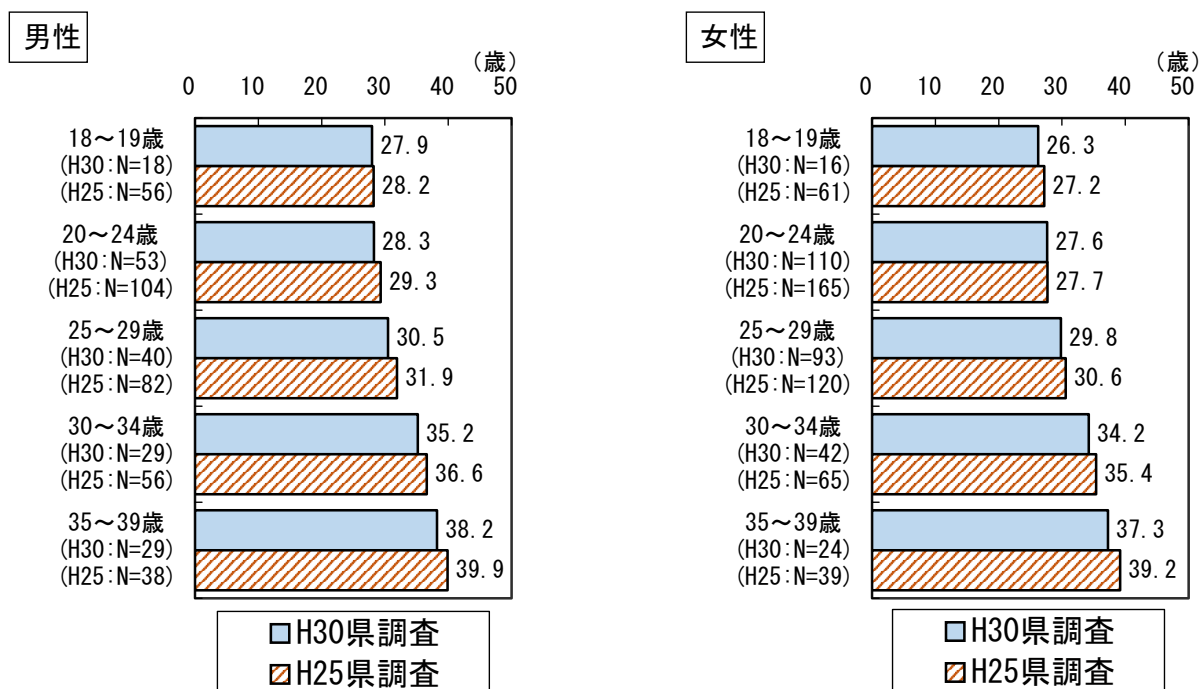
※結婚経験のない20～39歳

(6) 希望結婚年齢

問 10 あなたは何歳ぐらいのときに結婚したいと思いますか。希望する年齢を（ ）内に記入してください。

各年代の独身者が希望する結婚年齢の平均をみると、前回調査の結果に比べて、男女ともにすべての年代で低下している。

図表 希望結婚年齢



※いずれ結婚するつもりの方の独身者（40歳以上及び年齢不詳除く）

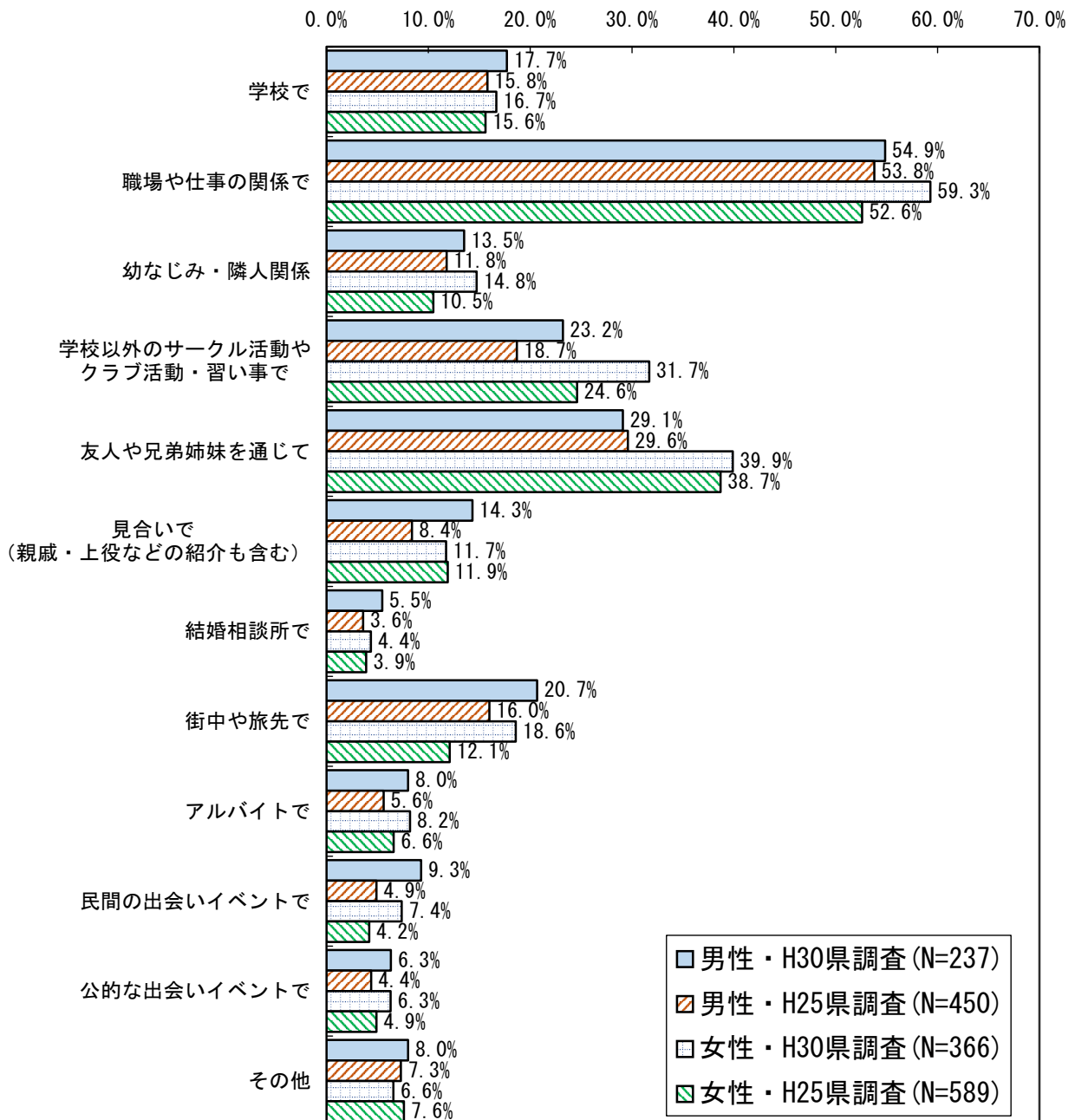
(7) 交際相手と知り合うきっかけの希望

問 11 あなたはどのようなきっかけで交際相手と知り合いたいですか。(〇は3つまで)

交際相手と知り合うきっかけの希望をみると、男性では「職場や仕事の関係で」が 54.9%で最も多く、次いで「友人や兄弟姉妹を通じて」(29.1%)、「学校以外のサークル活動やクラブ活動・習い事で」(23.2%)となっている。前回調査に比べて、「見合いで」の割合が 5.9ポイント上昇している。

女性では「職場や仕事の関係で」が 59.3%で最も多く、次いで「友人や兄弟姉妹を通じて」(39.9%)、「学校以外のサークル活動やクラブ活動・習い事で」(31.7%)となっている。前回調査に比べて、「学校以外のサークル活動やクラブ活動・習い事で」「職場や仕事の関係で」「街中や旅先で」の割合がそれぞれ約7ポイント上昇している。

図表 交際相手と知り合うきっかけの希望 (3つ選択)



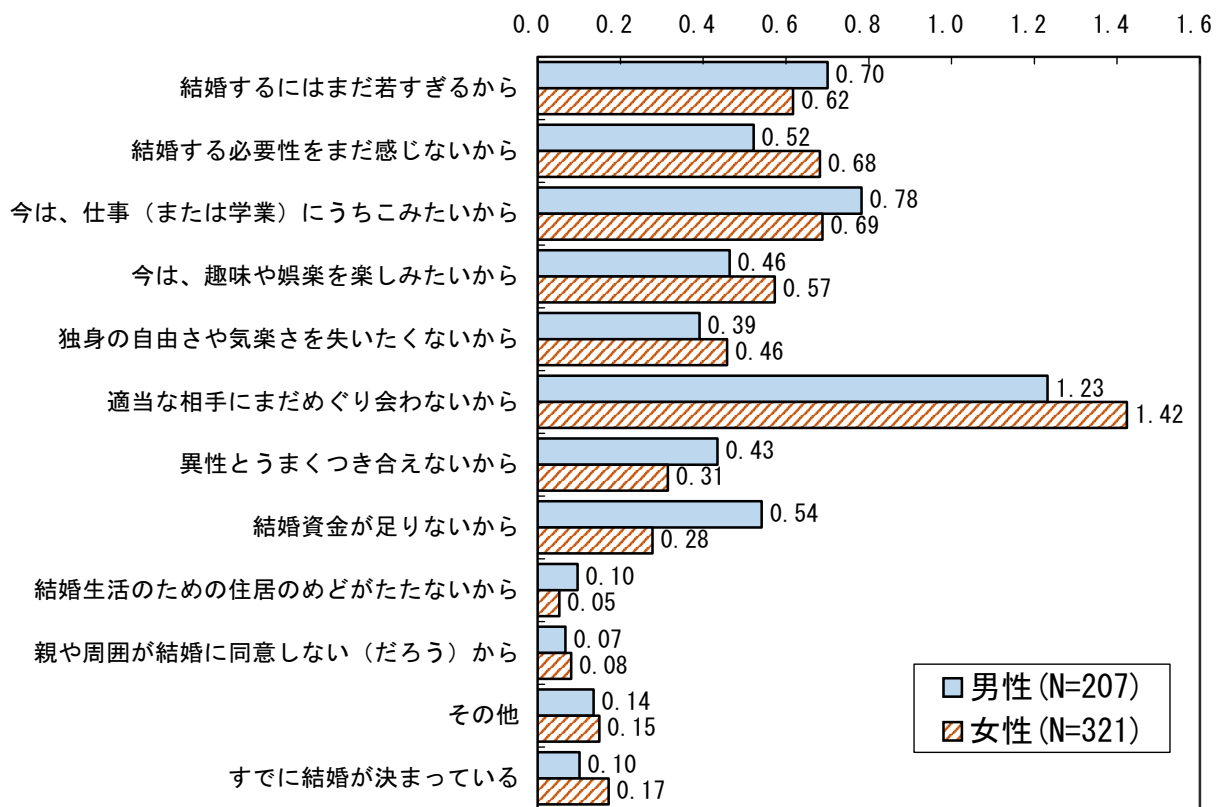
(8) 現在独身でいる理由

問 12 あなたが現在独身でいる理由は、次の中から選ぶとすればどれですか。自分にあてはまると思われる最大の理由、第二の理由、第三の理由をそれぞれ1つ選んで、右の回答欄に番号を記入してください（すでに結婚が決まっている方は、「最大の理由」の欄に12と記入してください）

現在独身でいる理由をみると、男性では「適切な相手にまだめぐり会わないから」が1.23点で最も多く、次いで「今は、仕事（または学業）にうちこみたいから」（0.78点）、「結婚するにはまだ若すぎるから」（0.70点）となっている。

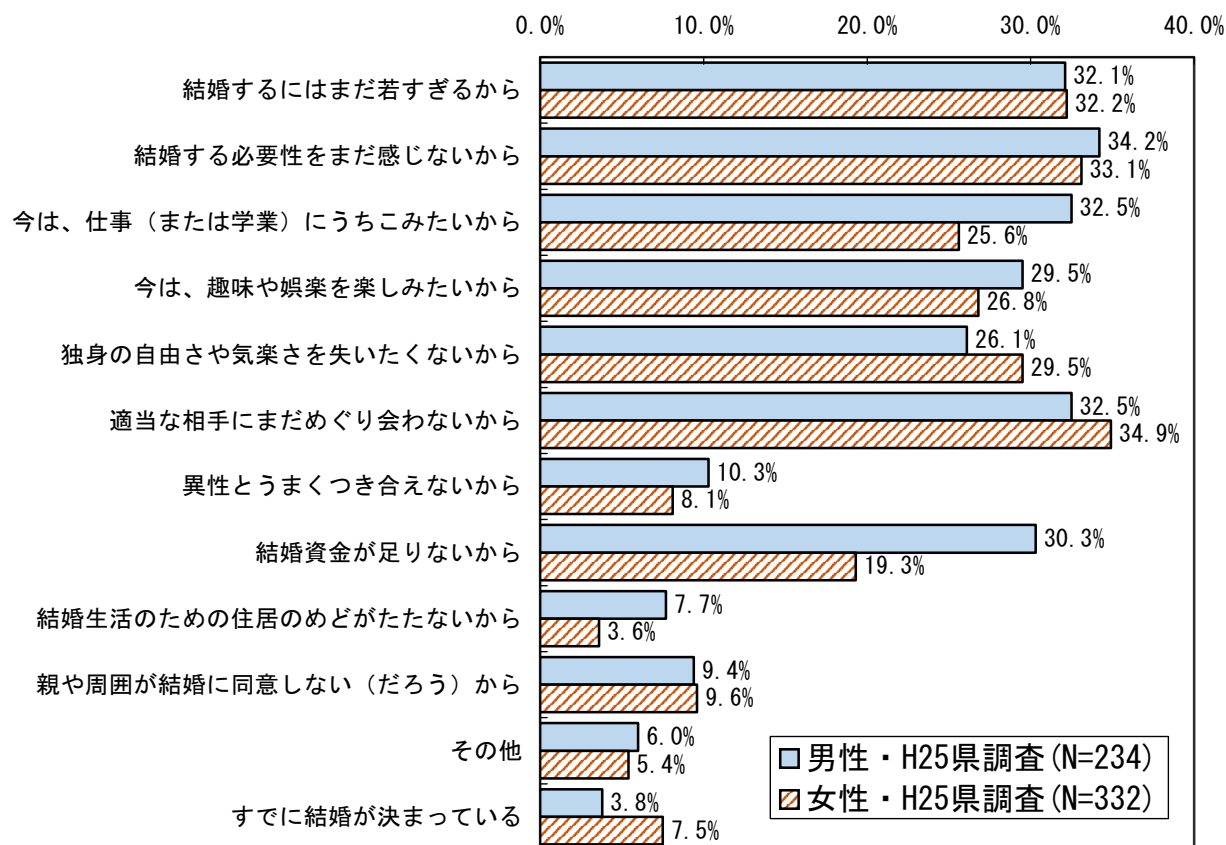
女性では「適切な相手にまだめぐり会わないから」が1.42点で最も多く、次いで「今は、仕事（または学業）にうちこみたいから」（0.69点）、「結婚する必要性をまだ感じないから」（0.68点）となっている。

図表 現在独身でいる理由（あてはまる理由を3つ選択）



※結婚経験のない方について、最大の理由＝3点、第二の理由＝2点、第三の理由＝1点として合計し、対象の母数で割った値を得点とした。

(参考) 図表 現在独身でいる理由 (前回)



(9) 結婚相手を決める際に重視すること

問 13 あなたは結婚相手を決めるとき、次の①～⑤の項目について、どの程度重視しますか。それぞれあてはまる番号に1つずつ○をつけてください。また、その他に重視することがある場合は、⑥に具体的に記入ください。

「①相手の経済力」をみると、「重視する」の割合は、男性では 9.0%、女性では 50.4%となっている。「あまり関係ない」の割合は、男性では 38.9%、女性では 3.2%となっている。

「②相手の性格」をみると、「重視する」の割合は、男性では 77.8%、女性では 92.1%となっている。「あまり関係ない」の割合は、男性では 0.7%、女性では 0.0%となっている。

「③自分の仕事や生き方に対する理解と協力」をみると、「重視する」の割合は、男性では 68.8%、女性では 65.1%となっている。「あまり関係ない」の割合は、男性では 2.8%、女性では 2.8%となっている。

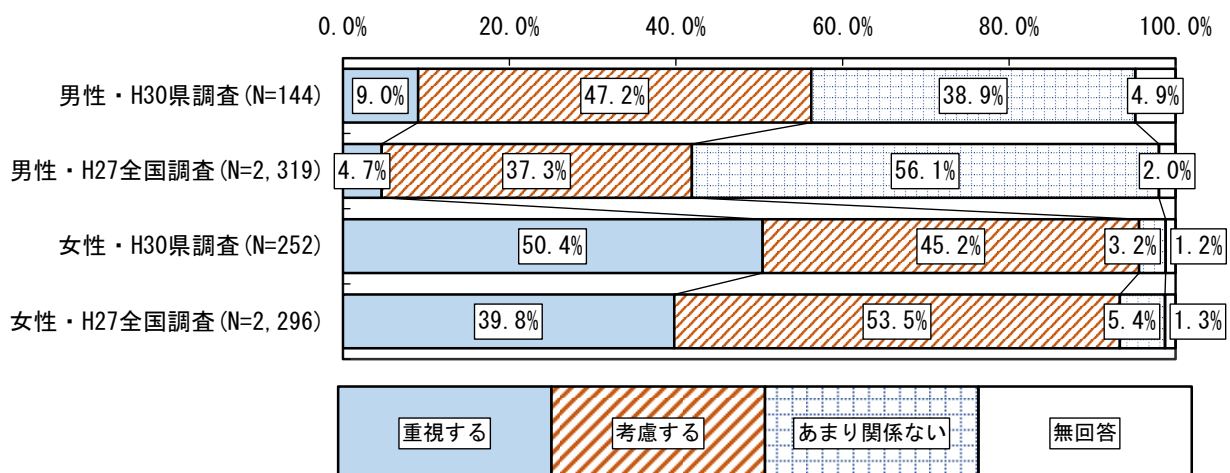
「④家事・育児に対する能力や姿勢」をみると、「重視する」の割合は、男性では 47.9%、女性では 42.9%となっている。「あまり関係ない」の割合は、男性では 5.6%、女性では 3.6%となっている。

「⑤価値観が合うこと」をみると、「重視する」の割合は、男性では 74.3%、女性では 79.4%となっている。「あまり関係ない」の割合は、男性では 4.2%、女性では 2.4%となっている。

全体として、相手の経済力については、重視する程度の性差が他の項目に比べて大きい。他の項目については、大きな性差はみられない。

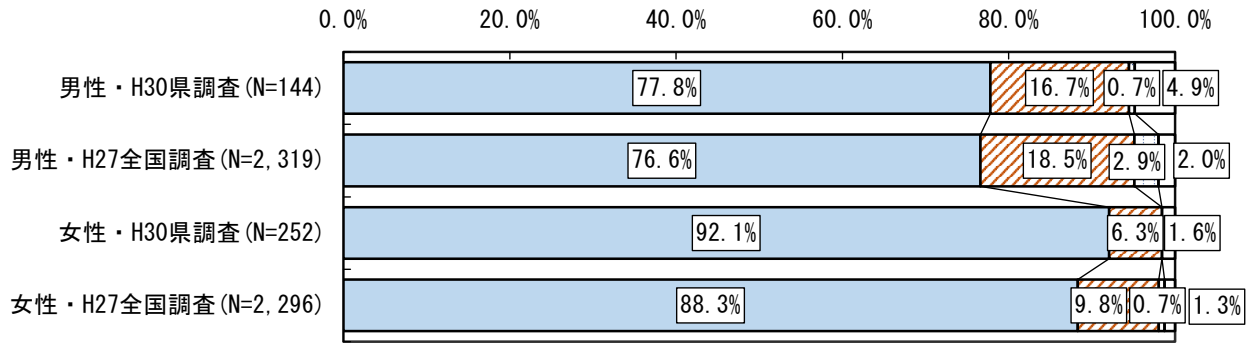
また、奈良県と全国で比較すると、女性では、全国より「相手の経済力」を重視し、「家事・育児に対する能力や姿勢」について重視する人が少ない。「相手の性格」については男女ともほぼ同程度である。

図表 結婚相手を決める際に重視すること ①相手の経済力

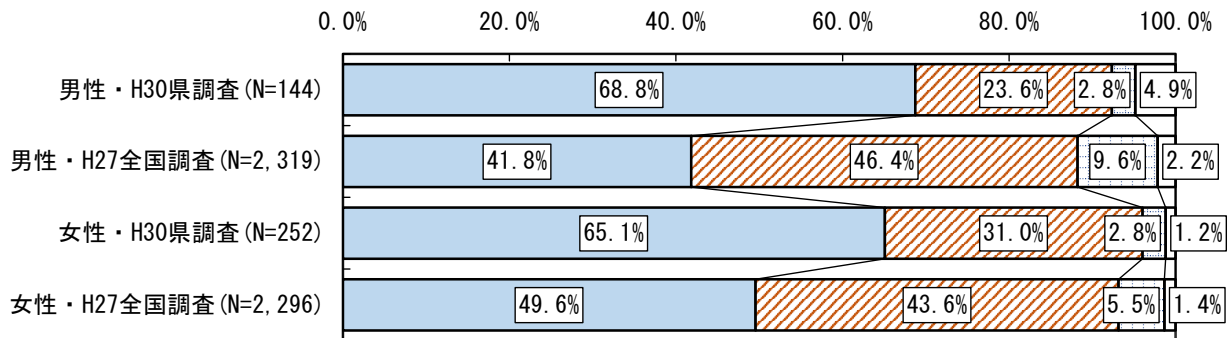


※いずれ結婚するつもりの方の 18～34 歳の未婚者

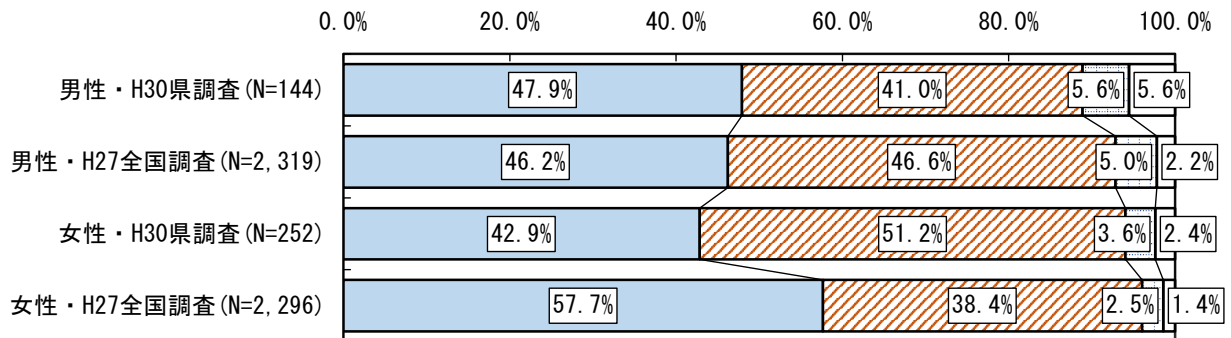
図表 結婚相手を決める際に重視すること ②相手の性格



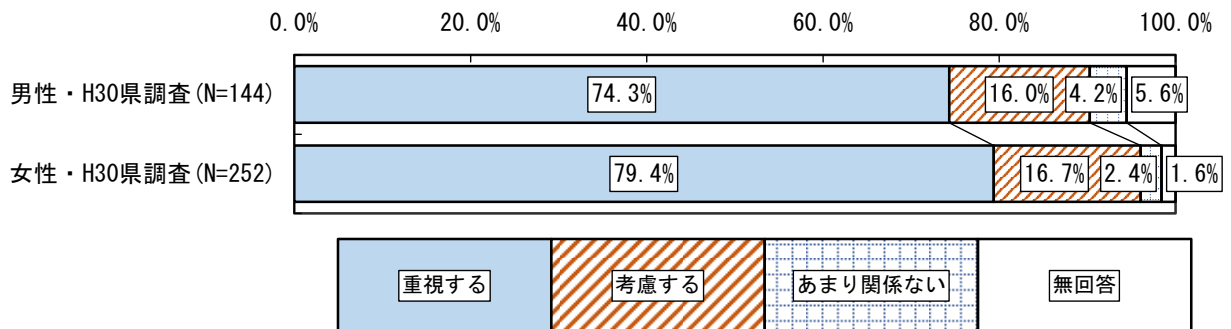
図表 結婚相手を決める際に重視すること ③自分の仕事や生き方に対する理解と協力



図表 結婚相手を決める際に重視すること ④家事・育児に対する能力や姿勢



図表 結婚相手を決める際に重視すること ⑤価値観が合うこと



※いずれ結婚するつもりの方の18~34歳の未婚者

※「③自分の仕事や生き方に対する理解と協力」について、全国調査の質問内容は「自分の仕事に対する理解と協力」

(10) 結婚することの障害

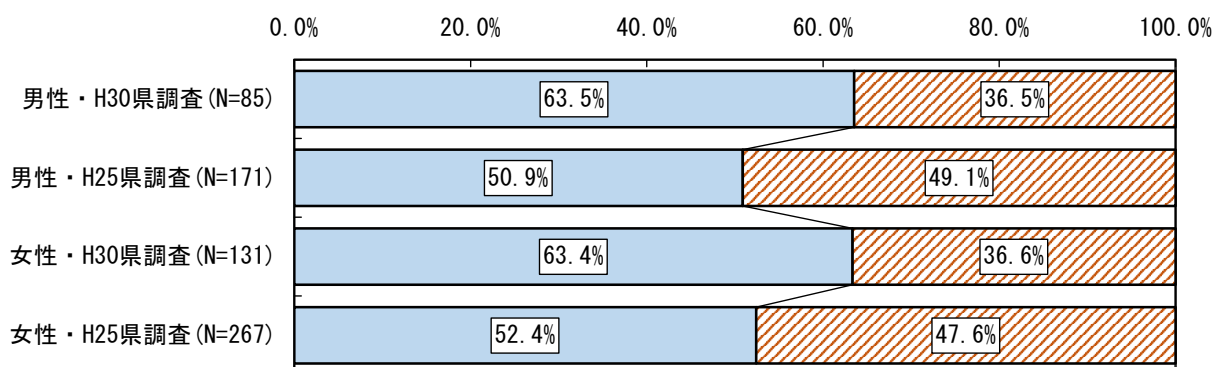
現在交際している方にうかがいます。それ以外の方は問15へお進みください。

問 14 現在交際している人と結婚するとしたら、なにか障害になることがありますか。左下①のあてはまる番号に○をつけてください。また、①の1. に○をつけた方は、右側②の障害になると思うことの中から、最大の障害と第二の障害をそれぞれ1つ選んで右の回答欄に番号を記入してください。

①交際相手と結婚をすることを考えた場合の障害になることの有無

男女とも「障害になることがあると思う」の割合が約6割強となっており、両者の差は小さい。

図表 交際相手と結婚をすることを考えた場合の障害になることの有無



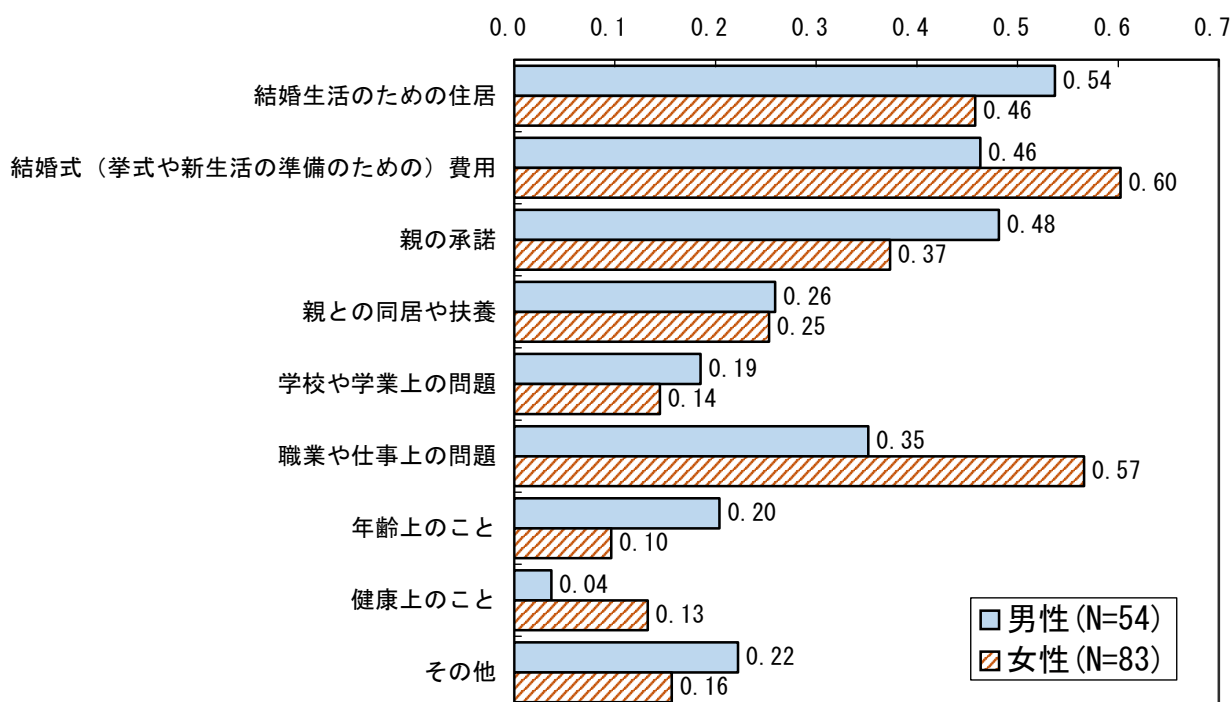
※結婚経験のない方（無回答を除く）

②結婚の障害になる具体的な内容

結婚の障害になる具体的な内容を見ると、男性では「結婚生活のための住居」が 0.54 点で最も多く、次いで「親の承諾」(0.48 点)、「結婚式(挙式や新生活の準備のための)費用」(0.46 点)となっている。

女性では「結婚式(挙式や新生活の準備のための)費用」が 0.60 点で最も多く、次いで「職業や仕事上の問題」(0.57 点)、「結婚生活のための住居」(0.46 点)となっている。

図表 結婚の障害になる具体的な内容(2つ選択)



※結婚経験のない方について、最大の障害=2点、第二の障害=1点として合計し、対象の母数で割った値を得点とした。

(参考) 図表 結婚の障害になる具体的な内容 (前回)

